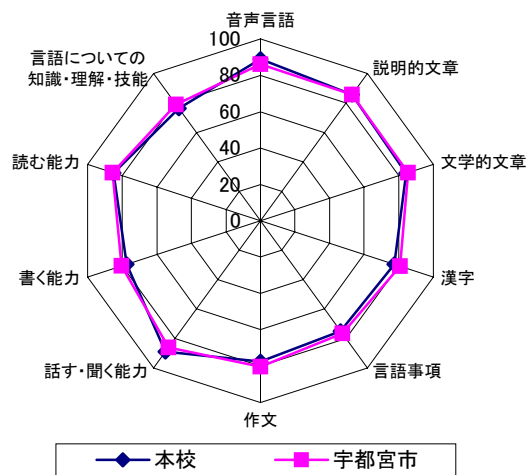


宇都宮市立宝木小学校第5学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	89.0	86.0
	説明的文章	85.8	85.7
	文学的文章	84.2	85.5
	漢字	77.3	80.7
	言語事項	75.0	76.6
	作文	77.5	80.3
観点別	話す・聞く能力	89.0	86.0
	書く能力	77.5	80.3
	読む能力	85.0	85.6
	言語についての知識・理解・技能	76.4	79.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (89.0%)	・平均正答率は、市平均を上回っている。 ・出題内容では、話の内容の聞き取り問題で「話し方の工夫の聞き取り」の正答率が高い。	・「話すこと聞くこと」の単元では、述べられている事柄を正確につかむことができたか確認をしながら学習を進めていく。 ・各教科の授業や普段の生活の中で、話し手の意図は何かを意識して聞くようにさせる。
説明的文章 (85.8%)	・平均正答率は、市平均とほぼ同じである。 ・説明文の読み取り問題では、「段落と段落の関係」の正答率が低い。	・説明文の学習では、形式段落ごとに繰り返し読むことで書かれている内容をとらえさせる。また、重要だと思ふ文や言葉に気づかせ、接続詞などを手がかりに段落と段落の関係を考えさせる。さらに、文章全体の構成を考えられるようにさせる。
文学的文章 (84.2%)	・平均正答率は、わずかに市平均を下回っている。 ・「場面の移り変わり」や「登場人物の心情」の正答率が低い。	・物語文の学習では、ていねいに読み進めて情景や登場人物の心情を読み取るようにさせる。 ・読書活動を通して、読書に親しむ習慣を作り文学的な文章に親しませる機会を増やす。
漢字 (77.3%)	・平均正答率は、市平均を下回っている。 ・5学年の漢字の読みの正答率が高いが、第3・4学年の漢字の書きの正答率は低い。	・漢字スキルなどで新出漢字を指導し、家庭学習でも漢字練習をさせ、ミニテストで覚えられたか確認させながら定着を図るようにさせる。誤字は、すぐに指導し正しく覚えられるように指導する。 ・授業での作文や行事の感想、ノートの記入なども既習の漢字を使い、漢字を日常生活で使う意識を育てる。
言語事項 (75.0%)	・平均正答率は、市平均をやや下回っている。 ・「接続語の補充」や「修飾語」とも正答率が市平均を上回った。「熟語の構成」の正答率は低い。	・国語辞典を常に使い、意味のわからない漢字や言葉はいつでも調べられるようにさせる。 ・新出漢字を覚える時に、熟語にも目を向けさせ成り立ちに興味を持たせる。
作文 (77.5%)	・平均正答率は、市平均を下回った。 ・初めのあいさつ終わりのあいさつについては、よく書けていたが、理由が書けていないものもあった。また、後付はあまり書かれていなかった。	・国語の学習以外にも目的に応じた手紙の構成や形式を再度理解させるとともに、読み手のことを考えた書き方の習熟を図っていく。